

[主訴]

更年期障害、ホットフラッシュ

[随伴症状]

のぼせ、頭部の汗、上半身の汗、動悸、肩凝り、ときに頭痛、顔が赤い、暑がっている、タオルで顔の汗を拭いている。足は比較的冷たい。目の疲れも感じる。肌はやや白。食欲は普通。やや便秘。口苦なし、寝つきは良いが中途覚醒あり。関節痛なし。

[経過]

2年前より更年期障害の症状がはじまる。急に汗が噴き出してきたり上半身が熱くなったりして困っている。漢方薬を服用中だがあまり改善がみられない。

[切診]

胸部熱感あり、大腿内側圧痛あり、太衝に陥凹あり。太谿もやや力なし。

胆経圧痛あり。

脇下硬なし。

背部肝兪付近も圧痛なし。

[腹診]

臍下軟弱なし、脇腹熱感あり。左脇下の肝の所見は異常なし。

[脈診]

脈は力あり。脈差はあまりないが全体的に浮いている。

[証の決定]

肝虚熱証で胆経の熱。

[治療]

陰谷、曲泉、湧泉の補法。

胆経圧痛部の瀉法。

[備考]

更年期障害は腎虚か肝虚が原因であることが多い。
今回は腎の所見が少なく、肝の所見が多く見られたため肝虚と判断した。

肝の血が虚して発生した熱が上部に上ることで足が冷え上部が熱くなる。

最初の1ヵ月は週2回の治療。2ヵ月目から週1~2回の治療。

5診でのぼせる感覚が軽減。中途覚醒は変化なし。

10診でのぼせ感とのぼせの頻度が半減。同時に肩凝りが和らいでいることに気付く。

20診で中途覚醒がほとんどなくなる。顔面の汗もか

なり減ってきた。顔色も赤みが薄れきた。
約 4 か月の治療で一番の悩みである頭部の汗やのぼ
せ感が気にならないぐらいに改善した。